

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

JIS A 6909 建築用仕上塗材

防水形複層塗材E 認証取得製品
(ダンツーカーコート主材・ダンツーカーコートローラー用主材)

防水形複層塗材RE 認証取得製品
(ダンツーカーキャスト主材・ダンツーカーキャストローラー用主材)

防水形透湿仕上塗材シリーズ

ダンツーカーコート®

JIS A 6909 建築用仕上塗材 防水形複層塗材E 認証取得製品

ダンツーカーキャスト®

JIS A 6909 建築用仕上塗材 防水形複層塗材RE 認証取得製品

ダンツーコート

ダンツーキャスト

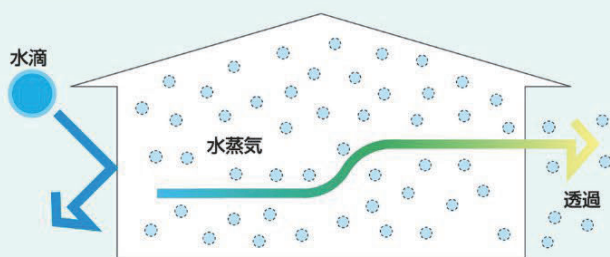
建物の外壁の仕上げにはRC造（鉄筋コンクリート造）の建物を中心に躯体のひび割れ追従性を有した弾性仕上塗材が求められます。

その一方で、建物外壁の内部結露や水蒸気による膨れを抑制するためには透湿性が求められます。

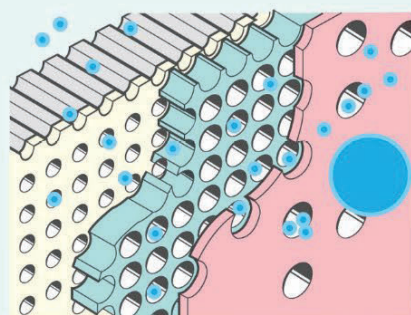
寒冷地ではその環境条件より、弾性と透湿性を兼ね備えた塗膜で躯体を保護することが要求されます。ダンツーコート、ダンツーキャストは特殊合成樹脂の採用により、これらの性能を併せ持った塗膜を形成します。

寒冷地では外気温と室内温度の差が大きく結露しやすいため、透湿性が求められます。

透湿イメージ



寒冷地の理想的な建物の断面構成は室内側は水蒸気を通しやすく、外気側は水滴を通しにくい壁が理想です。



水分子

水の会合粒子(水滴)

ダンツーシリーズの塗膜構成は、左図のようになっています。塗膜は雨水の浸入を防止し、水蒸気を通してさせる微細構造を示すため、塗膜の膨れ防止に役立ちます。

弾性と通気性を兼ね備えた塗膜は防水性向上と膨れ防止に役立ちます。



透湿性(ダンツーコート、ダンツーキャスト)

結露を抑制するために重要な外壁の水蒸気透過性に優れています。通常の弾性タイルと比較して、建物内部の結露防止、塗膜の膨れ、剥がれ防止に役立ちます。



防水性・ひび割れ追従性(ダンツーコート、ダンツーキャスト)

塗膜は弾性があるため、下地のひび割れに追従し、優れた防水性を発揮します。また、コンクリートの中性化を抑制します。



耐久性・耐候性(ダンツーコート、ダンツーキャスト)

耐久性・耐候性に優れ、長期に亘りその性能を維持します。特にダンツーコート、ダンツーキャストは、シリコン系の上塗材を選択することで、優れた耐候性を発揮します。



防かび・防藻性(ダンツーコート、ダンツーキャスト)

特殊設計により、かびや藻類などの微生物に対して強い抵抗性を示し、衛生的な環境を維持します。



オール水性仕様(ダンツーコート、ダンツーキャスト)

水性タイプの下塗材と上塗材を選択することで、オール水性の仕様を組み合わせることができます。また、溶剤形塗料に比べ、臭気が少なく、作業環境の改善に役立ちます。



強靱性・密着性(ダンツーキャスト)

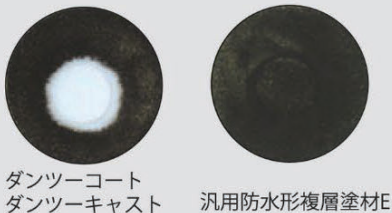
主材に反応硬化形成樹脂エマルジョンを採用していますので、形成された塗膜は強靱であり、また各種下地に対して優れた密着性を示し、長期に亘りその性能を維持します。



超低汚染性(ダンツーコート) ※上塗り：ダンツークリーン上塗材の場合

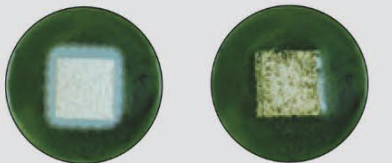
ダンツークリーン上塗材を使用した場合、セラミック成分の表面配向により、塗膜表面は低帯電性となり、大気中の排気ガスや粉塵による汚れが付着しにくい構造を実現します。また付着しても塗膜が親水性であるため、汚れを除去しやすく、長期に亘り優れた超低汚染性を維持します。

防かび性能比較



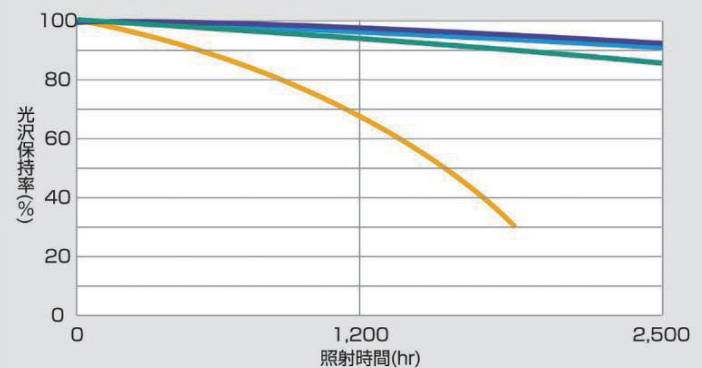
ダンツーコート
ダンツーキャスト 汎用防水形複層塗材E

防藻性能比較



ダンツーコート
ダンツーキャスト 汎用防水形複層塗材E

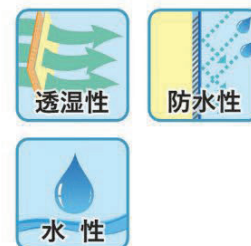
促進耐候性試験(キセノンランプ法)



- 水性ダンツーコート上塗材Si・ダンツーキャスト上塗材Si
- ダンツークリーン上塗材
- 水性ダンツーコート上塗材・ダンツーキャスト上塗材
- 汎用つや有りエマルジョンペイント

ダンツーコート ダンツーコートローラー用

ダンツーコートは、特殊変性弾性系合成樹脂の応用により、塗膜に透湿性と弾性（防水性）を併せ持った機能性仕上材です。ガスバリアー性、水蒸気透過性、表面化粧性、外壁・躯体保護など、建築物の外装仕上材に要求される様々な性能を満たします。上塗材に水性タイプを用いることで、環境に配慮したオール水性仕様となり、弱溶剤タイプのダンツークリーン上塗材を用いることで、超低汚染性を発揮します。



シリーズ構成製品

製品名	一般名	使用する上塗材のタイプと製品の種類	
ダンツーコート	防水形透湿仕上塗材	水性ウレタンタイプ	水性ダンツーコート上塗材
		水性アクリルシリコンタイプ	水性ダンツーコート上塗材Si
		弱溶剤ウレタンタイプ	★ダンツークリーン上塗材
主材層仕上げ	ダンツーコート	吹放し仕上げ	
		小粒仕上げ	
		凸部処理仕上げ	
	ダンツーコートローラー用	ゆず肌状ローラー仕上げ	

ダンツーコート

水性ダンツーコート上塗材(水性ウレタンタイプ 1液)

水性 防かび・防藻

水性反応硬化形の透湿型弾性ポリウレタン樹脂を結合材として用いた仕上材です。架橋構造による強靱な塗膜は、水性でありながら溶剤形に匹敵する性能を発揮します。

水性ダンツーコート上塗材Si(水性アクリルシリコンタイプ 1液)

耐久性 水性 防かび・防藻

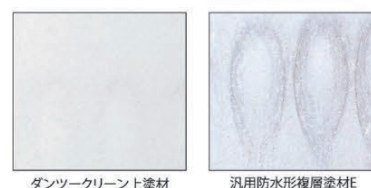
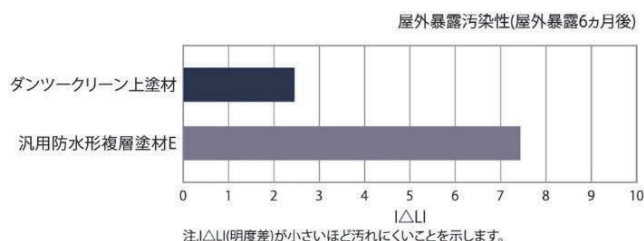
水性反応硬化形の透湿型弾性アクリルシリコン樹脂を結合材として用いた仕上材です。一液タイプであるため、常に安定で強靱なシロキサン結合が形成され、水性でありながら溶剤形に匹敵する性能を発揮します。

ダンツークリーン上塗材(弱溶剤ウレタンタイプ 2液)

超低汚染 防かび・防藻

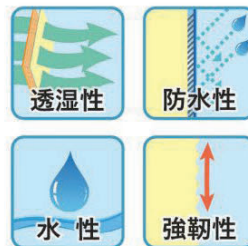
セラミック複合の特殊技術で超低汚染性を発揮する弱溶剤形のウレタン樹脂を結合材とした仕上材です。優れた透湿性、高耐久性を持ち、弱溶剤タイプのため、臭気も少なく、作業環境の改善に役立ちます。

◎汚染性比較



ダンツーキャスト ダンツーキャストローラー用

ダンツーキャストは、主材に反応硬化形合成樹脂エマルジョンを結合材として用いた高弾性透湿壁面防水化粧材です。特に下地のひび割れに対し、壁面の防水性を飛躍的に向上させる強靱な塗膜を形成し、長期に亘り建物を保護すると共に、透湿性や防かび、防藻性能を付与した建築用仕上塗材です。建物内部の結露、塗膜の膨れや剥がれを防止します。上塗材に水性タイプを用いることで、環境に配慮したオール水性仕様となります。



シリーズ構成製品

製品名	一般名	使用する上塗材のタイプと製品の種類	
ダンツーキャスト	反応硬化形高弾性透湿壁面防水化粧材	水性ウレタンタイプ	ダンツーキャスト上塗材
		水性アクリルシリコンタイプ	ダンツーキャスト上塗材Si
主材層仕上げ	ダンツーキャスト	吹放し仕上げ	
		小粒仕上げ	
	ダンツーキャストローラー用	凸部処理仕上げ	
		ゆず肌状ローラー仕上げ	

ダンツーキャスト

ダンツーキャスト上塗材(水性ウレタンタイプ 1液)

水性 防かび・防藻

水性反応硬化形の透湿型弾性ポリウレタン樹脂を結合材として用いた仕上材です。架橋構造による強靱な塗膜は、水性でありながら溶剤形に匹敵する性能を発揮します。

ダンツーキャスト上塗材Si(水性アクリルシリコンタイプ 1液)

耐久性 水性 防かび・防藻

水性反応硬化形の透湿型弾性アクリルシリコン樹脂を結合材として用いた仕上材です。一液タイプであるため、常に安定で強靱なシロキサン結合が形成され、水性でありながら溶剤形に匹敵する性能を発揮します。

吹放し仕上げ



ゆず肌状ローラー仕上げ



●写真は印刷のため、実物とは異なる場合があります。ご了承ください。

標準施工仕様

ダンツーコート

●新規下地仕様/吹放し仕上げ・凸部処理仕上げ(オール水性仕様)

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
※1.2 下地調整	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							—
※3.4.5.6 1 下塗り	水性ミラクシーラーエコ	既調合	0.10~0.13	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
2 主材塗り(1) (基層塗り)	ダンツーコート主材	100	1.0~1.4	1	—	2以上	—	リシンガン 口径:4~6mm 圧力:490~686kPa (5~7kgf/cm ²)
	清水	3~6	—					
3 主材塗り(2) (模様塗り)	ダンツーコート主材	100	0.8~1.0	1	—	吹放し 16以上 凸部処理 0.5以内	—	タイルガン 口径:6.5~8mm 圧力:392~588kPa (4~6kgf/cm ²)
	清水	0~3	—					
(4) 凸部処理	※7 プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえる。				—	16以上	—	—
5 上塗り	※11 水性ダンツーコート上塗材	100	0.25~0.35	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	清水	0~20	※8					
5' 上塗り	※11 水性ダンツーコート上塗材Si	100	0.25~0.35	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	清水	0~20	※8					

●新規下地仕様/弱溶剤仕様 下地調整・主材塗り、凸部処理工程は上記参照

(23℃)

※3.4 1 下塗り	ミラクシーラーES	既調合	0.10~0.15	1	—	1以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
5' 上塗り	※10.11.12.13.14.15.16 ダンツークリーン上塗材 主剤	100	0.25~0.35	2	3以上 7日以内	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	ダンツークリーン上塗材 硬化剤	18.5						
	塗料用シンナーA	0~20	※9					

●新規下地仕様/小粒仕上げ 下地調整、下塗り、主材塗り(1)、上塗り工程は上記参照

(23℃)

3 主材塗り(2) (模様塗り)	ダンツーコート主材	100	0.4~0.6	1	—	16以上	—	タイルガン 口径:4~6.5mm 圧力:392~588kPa (4~6kgf/cm ²)
	清水	0~3	—					

●新規下地仕様/ゆず肌状ローラー仕上げ 下地調整、下塗り、上塗り工程は上記参照

(23℃)

2 主材塗り	ダンツーコートローラー用主材	100	1.5~1.8	2	8以上	16以上	—	M-9ローラー (マステックローラー)
	清水	0~4	—					

ダンツーキャスト

●新規下地仕様/吹放し仕上げ・凸部処理仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
※1.2 下地調整	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							—
※3.4.5.6 1 下塗り	水性ミラクシーラーエコ	既調合	0.10~0.13	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
2 主材塗り(1) (基層塗り)	ダンツーキャスト主材 主剤	100	1.3~1.7	1~2	4以上	4以上	—	リシンガン 口径:4~6mm 圧力:490~686kPa (5~7kgf/cm ²)
	ダンツーキャスト主材 硬化剤	1						
3 主材塗り(2) (模様塗り)	ダンツーキャスト主材 主剤	100	0.7~0.9	1	—	吹放し 18以上 凸部処理 0.5以内	—	タイルガン 口径:6.5~8mm 圧力:392~588kPa (4~6kgf/cm ²)
	ダンツーキャスト主材 硬化剤	1						
(4) 凸部処理	※7 プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえる。				—	18以上	—	—
5 上塗り	※11 ダンツーキャスト上塗材	100	0.25~0.35	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	清水	0~20	※8					
5' 上塗り	※11 ダンツーキャスト上塗材Si	100	0.25~0.35	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	清水	0~20	※8					

●新規下地仕様/小粒仕上げ 下地調整、下塗り、主材塗り(1)、上塗り工程は上記参照

(23℃)

3 主材塗り(2) (模様塗り)	ダンツーキャスト主材 主剤	100	0.4~0.6	1	—	18以上	—	タイルガン 口径:4~6.5mm 圧力:392~588kPa (4~6kgf/cm ²)
	ダンツーキャスト主材 硬化剤	1						
	清水	0~2	—					

●新規下地仕様/ゆず肌状ローラー仕上げ 下地調整、下塗り、上塗り工程は上記参照

(23℃)

2 主材塗り	ダンツーキャストローラー用主材 主剤	100	2.0~2.4	2	18以上	18以上	—	M-9ローラー (マステックローラー)
	ダンツーキャストローラー用主材 硬化剤	1						
	清水	2~3	—					

荷 姿

材料名	入目(標準塗坪)
水性ミラクシーラーエコ	15kg石油缶 (標準塗坪:115~150㎡/缶)
★ミラクシーラーES	15kg石油缶 (標準塗坪:100~150㎡/缶)
☆ダンツークキャスト主材	18.18kgセット (標準塗坪:吹放し・凸部処理仕上げ 6~9㎡/セット) (標準塗坪:小粒仕上げ 7~10㎡/セット)
ダンツークコート主材	20kg石油缶 (標準塗坪:吹放し・凸部処理仕上げ 8~11㎡/缶) (標準塗坪:小粒仕上げ 10~14㎡/缶)
☆ダンツークキャストローラー用主材	18.18kgセット (標準塗坪:ゆず肌状ローラー仕上げ 7~9㎡/セット)
ダンツークコートローラー用主材	20kg石油缶 (標準塗坪:ゆず肌状ローラー仕上げ 11~13㎡/缶)
水性ダンツークコート上塗材(艶有り、半艶、3分艶)	16kg石油缶 (標準塗坪:45~64㎡/缶)
水性ダンツークコート上塗材Si(艶有り、半艶、3分艶)	16kg石油缶 (標準塗坪:45~64㎡/缶)
ダンツークキャスト上塗材(艶有り)	16kg石油缶 (標準塗坪:45~64㎡/缶)
ダンツークキャスト上塗材Si(艶有り)	16kg石油缶 (標準塗坪:45~64㎡/缶)
★ダンツーククリーン上塗材(艶有り)	16kgセット (標準塗坪:45~64㎡/セット) 4.27kgセット (標準塗坪:12~17㎡/セット)
★塗料用シンナーA	16ℓ石油缶

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。

特に★印のついている製品は溶剤形の製品であるため、下記の点にご注意ください。(☆印は硬化剤のみ★印に該当)

- 1.引火性の液体のため、火気厳禁です。
- 2.有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
- 3.施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

施工上の注意事項(共通)

- ※ 1.ALC面、多孔質下地、粗面、その他下地に問題がある場合には、カケンフィラー(粉体20kg袋、混和液10kg石油缶)、ミラクフアンドKC-1000(粉体20kg袋、混和液5kgポリ容器)などにて下地調整を行ってください。なお、改装工事にはミラクフアンド各種をご使用ください。
- ※ 2.ダンツークコート、ダンツークキャストの透湿性は、下地に透湿性がある場合のみ有効に機能します。
- ※ 3.下塗りには必ず指定の材料をご使用ください。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※ 4.下地の種類によっては、下塗材の選定が必要になります。特に押し成形型セメント板、GRC板、PC部材などには下塗材として、★ミラクシーラーEPO(15kgセット)、★エスケーハイブリッドシーラーEPO(15kgセット)をご使用ください。なお、軽量PC部材への施工は避けてください。
- ※ 5.その他下地材として、ダンツークシーラー(15kg石油缶)もご使用いただけます。
- ※ 6.水性ミラクシーラーエコは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けると共に、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
- ※ 7.灯油などの他の材料の使用は絶対に避けてください。
- ※ 8.清水(水道水)での希釈率は、スプレー塗りで「10~20」、刷毛・ローラー塗りで「0~10」となります。
- ※ 9.★塗料用シンナーAでの希釈率は、主剤100に対してスプレー塗りで、「10~20」、刷毛・ローラー塗りで「0~10」となります。
- ※ 10.材料の希釈には必ず専用シンナーを使用し、他の材料の使用は避けてください。なお★塗料用シンナーAで希釈する製品については、★塗料用シンナーAの他、★塗料用シンナーXもご使用いただけます。
- ※ 11.上塗材の希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- ※ 12.二液反応硬化剤の材料は、主剤と硬化剤を指定の比率で調合し、電動ミキサーで攪拌混合してご使用ください。特に超低汚染型塗料は、主剤と硬化剤の混合比率が不適切であったり、他の材料と混合したり、硬化剤を投入しなかった場合、低汚染機能が発揮されませんので、必ずこれを厳守してください。また材料調合後、缶に表示されている可使用時間内に使い切るようにしてください。
- ※ 13.上塗材は所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨があった場合、汚染の原因につながる場合があります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨が予想される場合は、シート養生を行うなどして、所定の乾燥時間を厳守してください。
- ※ 14.上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意してください。また、タッチアップに使用する上塗材の主剤、硬化剤は予めよく振り、沈降分離していないものを必ず計量器を用いて計量し、電動ミキサーなどで十分に攪拌(2分以上)したものを使用し、製品容器に記載の可使用時間以内に使い切るようにしてください。
- ※ 15.施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に傾斜壁の下端部、笠木などの水切のない部分、窓廻り水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がからまない部位などは、注意が必要です。
- ※ 16.施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗装面に直接雨がからまないよう、対策を講じてください。
- ※ 17.濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
- ※ 18.JIS A 6909 建築用仕上塗材 複層仕上塗材では、下塗材、主材、及び上塗材は同一メーカーの指定された製品を使用しないとJIS規格品として認められません。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※ 19.既存塗膜の剥離箇所は、既存パターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターンを行ってください。
- ※ 20.軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型業系サイディング及び発泡ウレタンなどを使用した高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱されたり、水の影響や下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることでパネルの変形や塗膜の膨れ、剥がれなどを生じることがあります。ご採用にあたっては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※ 21.改装工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- ※ 22.防かび・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび、防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- ※ 23.かびや藻が付着している場合は、SKKカビ除去剤 #5(塩素系)にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- ※ 24.所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象現象、希釈率等の各条件により増減します。
- ※ 25.塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- ※ 26.低温又は高温時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ※ 27.補修塗りが必要な場合がありますので、補修用を使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ※ 28.補修塗りの際、仕上がりの違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がりに確認した上で希釈量等を決定してください。
- ※ 29.シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※ 30.間隔が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- ※ 31.陶磁器タイル洗浄用の酸が塗面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗面の養生を行ってください。
- ※ 32.塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ※ 33.最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- ※ 34.著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤形塗料での塗装を推奨いたします。
- ※ 35.結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- ※ 36.強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下の施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にご確認ください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打合せを行ってください。
- ※ 37.材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めを使い切ってください。
- ※ 38.性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
- ※ 39.公共建築工事標準仕様(新築、改修)につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

適用下地

コンクリート セメントモルタル ALCパネル
スレート板 各種サイディングボード
各種旧塗膜(活膜)など

用途

- 戸建て住宅、マンションなどの内外装
- 店舗、事務所、公共施設などの内外装
- 学校、病院、図書館などの公共施設の内外装
- 工場、倉庫などの内外装

